

事務事業名		職員研修事業		目標設定日	平成29年3月1日
総合計画体系	基本政策	6	市民参加と協働のまちづくり	部・局	総務部
	政策	06	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	課・室	庶務課
	施策	02	職員の能力向上	係	職員係
予算体系	会計	一般会計		内線電話	213
	款	2款	総務費	実施計画	
	項	1項	総務管理費	未計上	
	目	1目	一般管理費	実施期間	
				合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	行政サービスの向上を図るため、中野市人材育成基本方針に基づき職員研修計画を策定し、職員研修を実施し、職員の資質向上を目指す。
	現状・課題			
市が行う理由及びその根拠	その他	中野市人材育成基本方針、職員研修計画		
事務事業概要	職員の資質向上を図るため、各種研修を実施する。			
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	各種市独自研修の実施		出席人数 1,230人	
	各種外部委任研修への派遣		研修派遣人数 70人	

事務事業インプット	項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円	5,469,000	5,142,000
補正予算		円			—
合計		円	5,469,000	5,142,000	5,142,000
決算（見込）額 A		円	4,167,850	5,142,000	—
財源内訳	国庫支出金	円			
	県支出金	円			
	市債	円			
	その他特定財源	円			
H29は予算額	一般財源	円	4,167,850	5,142,000	5,142,000
正規職員数		人	1.03	1.03	1.03
人件費 B		円	6,809,330	6,805,210	6,805,210
総事業費 A+B		円	10,977,180	11,947,210	11,947,210
市民1人当たりコスト		円	249	273	276

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
研修により行政サービスの向上に寄与したと考えられる職員数		増加	目標	1,300	人	1,300	人	1,300	人
			成果	1,610	人	1,300	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値の設定理由	職員の資質向上が図られることにより、行政サービスの向上が図られるため。								

平成29年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	引き続き、職員の資質向上及び勤務能率の増進を図るため、職員研修を実施する。						

